

# 本島伝説

## てんぐ あしあと 天狗の足跡

遠い昔の話です。本島にある遠見山とおみやまはたいそう見晴らしのきく山です。その山の中腹に「天狗の足跡」と呼ばれる大きな岩があります。

瀬戸内海の島々にはたくさんの天狗が住んでおり四国はもとより中国地方まで飛び回っておったそうです。

ある時、丸亀城下に住む子供が神隠しに遭い、家族のものが八方手を尽くして探しましたが、どうしても見つかりませんでした。そこで古老達に相談しましたところ、失せものや家出人などにご利益があるという佐柳島さなぎしま(多度津)の大天狗さんに願掛けに出かけました

それから3日もたったころです。あんなに捜していた子供が無事、父母のもとへ帰ってきました。その子供にいろいろ尋ねましたところ子供の云う事には、

「夕方、堀の近くで遊んでたら、急に目の前が暗くなって気がついたら、本島の弁天島におった。そこへ、大きな天狗さんがやってきて、家につれて帰ってやるから背中に乗りまい」と云うた。それから、弁天島を飛び上り、遠見山の大岩に片足を踏ん張ってその勢いで丸亀のお城の下まで連れてきてくれたという伝説です。

